

コミュニケーションシステム CS-60 ～省スペース設計、車椅子へも対応～

トプコン・コミュニケーションシステム CS-60 は、従来の検査機器に比べ設置面積を最大で 40% 省スペース化できる屈折視力検査用システムテーブルです。

さらに、車椅子の患者でも違和感なく、安心して検眼が受けられることをコンセプトとし、足元を広くしたデザインと、従来位置より 30° 大きく回転する視力検査装置用吊り下げアームを搭載しました。



【特 長】

- ・ テーブル幅 66cm のコンパクトな検査用システムテーブルです。
- ・ 従来の設置面積から最大で 40% の省スペース化が可能です（当社従来機比）。
- ・ 足元の構造物を少なくしスペースを広く取り、車椅子のまま検査することもできます。
- ・ 屈折検査装置用吊り下げアームを、従来位置よりさらに 30° 大きく回転させ、車椅子を使った被検者の負担を軽減できます。
- ・ 電動自覚式屈折視力検査装置 CV-3000 のほかに、マニュアル自覚式屈折視力検査装置 VT-SE/VT-10 を使用できます。
- ・ チャートプロジェクター ACP-8 用の設置ユニットが用意しています。
- ・ 従来の既設の視力表を使うことも可能です。
- ・ 検眼レンズセット TLS-3（35 通り）をテーブル内引出しに収納できます。

【仕 様】

テーブル部サイズ	: 660mm(W) × 450mm(D)	: (従来 800mm(W) × 570mm(D))
スタンド部幅	: 138mm	
上下動	: 220mm	
大きさ	: 660mm(W) × 635(D)mm × 1212 ~ 1432 (H) mm	
質 量	: 52 k g	
定格電圧、周波数	: AC100V 50/60Hz	
電源入力	: 270VA (本体のみ)	

【その他】

発 売 : 平成 15 年 6 月
発 売 国 : 日本
販売目標 : 初年度 200 台 (国内のみ)
国内価格 : 50 万円 (本体部のみ)